

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【公開番号】特開2007-128199(P2007-128199A)

【公開日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2007-019

【出願番号】特願2005-319051(P2005-319051)

【国際特許分類】

G 0 6 F 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 1/16 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 1/00 3 7 0 E

G 0 6 F 1/00 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月7日(2008.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子機器筐体と、底カバーと、前記電子機器筐体に前記底カバーを取り付けるねじと、前記電子機器筐体に設けられ、少なくとも先端に導電性を有するボスと、前記ボスと前記底カバーに挟まれて取り付けられ、前記ボスの先端と接触する配線パターン箔を備えた回路基板と、前記ボスの先端と前記配線パターン箔との接触状態の変化を検出する検出部と、前記検出部で検出された前記ボスの先端と前記配線パターン箔との接触状態の変化に関するデータを蓄積するメモリと、前記メモリに蓄積されたデータを表示する手段を備えた電子機器。

【請求項 2】

電子機器筐体と、底カバーと、前記電子機器筐体に前記底カバーを取り付けるねじと、前記電子機器筐体に設けられたボスと、前記ねじによる前記電子機器筐体と前記底カバーの取り付けによって取り付けられる回路基板と、前記回路基板に取り付けられ、前記電子機器筐体への前記底カバーの取り付けにより前記ボスの先端によって押されるスイッチと、前記スイッチの変化を検出する検出部と、前記検出部で検出されたスイッチの変化に関するデータを蓄積するメモリと、前記メモリに蓄積されたデータを表示する手段を備えた電子機器。

【請求項 3】

前記メモリに蓄積されたデータを初期化する手段を備えた請求項 1 乃至請求項 2 に記載の電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電子機器

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

上記課題を解決するために、本発明の電子機器は、電子機器筐体と、底カバーと、前記電子機器筐体に前記底カバーを取り付けるねじと、前記電子機器筐体に設けられ、少なくとも先端に導電性を有するボスと、前記ボスと前記底カバーに挟まれて取り付けられ、前記ボス先端と接触する配線パターン箔を備えた回路基板と、前記ボス先端と前記配線パターン箔との接触状態の変化を検出する検出部と、前記検出部で検出された接触状態の変化に関するデータを蓄積するメモリとを備えたものであり、電子機器の分解の過程でねじを取り外したことを電氣的に検知し、これをメモリに保存することにより、分解の履歴の有無を知ることが出来るようにしたものである。